

所報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第136号 平成29年3月13日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 TEL 381-1058
(主な内容)

・平成29年度江別市教育研究所事業報告

平成29年度江別市教育研究所事業の報告

江別市教育研究所は教育の理論と実践について専門的研究を行うとともに、一層の教育の進展と充実を図るために、調査及び資料の収集整理、教職員研修、関係機関との連絡交流などに取り組んできました。本年度の主な活動を終えましたので、事業内容について報告いたします。

○所員会議について

[構成]

- ・ 所長 渡部 丈司(教育部長)
- ・ 副所長 伊藤 忠信(学校教育支援室長)
高橋 秀明(東野幌小校長)
- ・ 所員 前田 真志(江別第一小教頭)
吉村 瑞穂(大麻東小教諭)
増永 利華(江別第三中教諭)
酒井 優(野幌中教諭)
長谷川 遼太(大麻中教諭)
- ・ 事務局長 宮野 光彦(江別市教育研究所)
- ・ 事務局次長 須藤 繭子(学校教育係)

[会議]

- 第1回：平成29年度の活動方針と年間事業計画、所員の業務、夏期セミナーの内容について
- 第2回：平成29年度意識調査の項目検討と夏期セミナーの役割分担について
- 第3回：平成29年度夏期セミナーの反省と意識調査の集計分担について
- 第4回：意識調査の分析分担と記述様式について、冬期セミナーの内容について
- 第5回：「調査研究報告書No.33」の原稿確認、冬期セミナーの役割分担
- 第6回：「調査研究報告書No.33」の送付先の確認と今年度の事業反省について、「調査研究報告書No.33」の製本作業

○調査研究報告書No.33について

□昭和60年から毎年行っている「意識調査」に基づく調査研究報告ですが、今年度の研究テーマを「楽しい学校生活を送るために～児童・生徒の意識～」とし、児童・生徒の学校生活での

調査研究報告書 No.33

楽しい学校生活を送るために
～児童・生徒の意識～



平成30年3月
江別市教育研究所

楽しいことや不満、校則のことや悩みなどの実態や考え方を把握するとともに、過去の調査結果と比較してどのような変化があったかについて、調査研究しました。

□小学校5年生と中学校2年生を対象に、平成19年度に実施した調査項目を中心に、19項目の調査を実施しました。

□調査から、「学校生活が楽しい」と思っている児童・生徒が増えている半面、「一人で本を読んだり、好きなことをするとき」が楽しいと答えた児童・生徒が増えてきており、宿題について「毎日出すのがよい」と考えている児童・生徒が非常に増えている傾向が見られました。

□「勉強のことや受験のこと」の悩みが、児童でも3割を超え、休みの日には「ゲームやインターネットをする」生徒が2割を超える

など、10年前とかなり変化していることがわかりました。

□本報告書は、市内教職員、市議会、市内教育関係機関、道内教育研究所、石狩教育局、管内教育委員会等に送付しました。

○夏期セミナー・冬期セミナーについて

□最新の教育動向や新学習指導要領の内容、体力向上、走り方指導、作品の見方、情報モラル、特別支援教育、外国語教育、ICT教育、プログラミング教育など、今日的な課題に対応する内容の講座を夏期に10講座、冬期に4講座実施し、参加者は夏期に553名と冬期に123名の参加があり、合計676名の参加となりました。

□夏期セミナーの満足度は91.7%、冬期セミナーの満足度は82.0%でした。

○教職員ICT研修の開催について

□5月に転入教職員を対象に電子黒板の基本操作の講座を1講座開催し、36名の参加がありました。

□冬期セミナーでは、タブレットの使い方など実践交流の講座を開催し、21名の参加がありました。

○小学校外国語活動・英語活動指導連絡協議会について

□第1回：平成29年度の年間計画、実態交流、研修

□第2回：平成29年度の活動報告、研修

□研修：中央中・大麻中英語授業参観、中央小学校外国語活動授業参観・交流

□研修：夏期セミナーで、教育大から講師をお招きし、外国語教育のあり方の研修と、ALTと協力した模擬授業を行いました。

□研修：冬期セミナーでは、道研から講師をお招きし、学習指導要領改訂に伴う外国語教育の進め方について研修を深めました。

◆来年度からは、「小学校外国語教育指導連絡協議会」に名称を変更します。

○指導計画編集委員会について

□江別市では小学校4年生以下について独自に英語活動を行っていますが、その指導計画・指導案の作成や修正を行うため、「指導計画編集委員会」を「小学校外国語活動・英語活動指導連絡協議会」の下に組織してきました。

□新学習指導要領が告示されたことに伴い、指導時数の確保や指導体制について江別市の方向性を提言するために今年度は委員数を拡大して3回開催し、臨時連絡協議会にその内容を報告しました。

○体力向上実践事業について

□北翔大学と文京台小が、連携して「朝運動プログラム」の開発を進めました。

□文京台小学校を会場に、体力向上の講義と朝運動プログラムの体験研修をしました。

□「朝運動プログラム」普及出前授業を北光小、角山小、いずみ野小の3校で前期・後期各2回実施しました。

□北翔大学や近隣の中学校の協力を得て、平成27年度から小学校高学年を対象に「走り方教室」を開催しており、今年度は運動会前に9校で開催し、大変好評でした。

○道研連研究大会(日高)への参加について

当研究所は、北海道教育研究所連盟に加盟していますが、今年度の研究発表大会は、8月31日・9月1日に浦河町で開催され、事務局長が参加しました。

○所報の発行について

□所報130号：巻頭言教育長挨拶「地域とともにある学校づくりをめざして～全校コミュニティ・スクール化をツールに～」

□所報131号：平成29年度江別市教育研究所の主な事業、平成29年度電子黒板研修会(転入)の報告、平成29年度第1回小学校外国語活動・英語活動指導連絡協議会の報告、「走り方教室」の報告、

□所報132号：平成29年度夏期セミナーの案内、朝運動プログラム出前授業の報告

□所報133号：平成29年度夏期セミナーの報告、指導計画編集委員会の開催について

□所報134号：平成29年度冬期セミナーの案内、道研連研究発表大会(日高)の報告、朝運動プログラム出前授業(後期)の報告

□所報135号：平成29年度学力向上策ヒアリングを終えて、平成29年度冬期セミナーの報告、どさん子元気アップチャレンジのメダル授与について

□所報136号：平成29年度江別市教育研究所事業報告